



鳥取こども学園 学園だより

第 31 号

2012年 6月 1日

○発行
鳥取市立川町 5丁目 417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

子育て王国鳥取県に、 日本一の社会的養護を実現させよう

「民間キリスト教社会事業の原点に返り、心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして子どもたち、保護者と共に歩みたい」「私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」マタイ・25章 40節

鳥取こども学園常務理事・園長 藤野興一

二〇一一年度を振り返って

① 二〇一一年七月、厚生労働省は「社会的養護の課題と将来展望」を、更に二〇一二年二月、「平成二十四年度予算」措置費関係通知」等を公表しました。三・一一東日本大震災・福島原発事故による社会不安が広がる中、社会的養護改革は施設の小規模化、高機能化、家庭的養護促進、里親制度拡充の方針を明示。三十年以上動かなかった職員配置も含めて大きく前進しました。

二〇〇七年五月より二期四年間、全養協副会長として「社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員」をさせていただき、この改革に主体的に関わり、自立援助ホームの現員払いを定員払いに戻すこと、児童養護施設や乳児院、情短施設でも、小規模ケアホーム加算を六ホームまで認めること、地域小規模児童養護施設の条件緩和、里親支援専門相談員配置など実現出来たことは、感謝です。

② 我が園でも、二〇一一年四月開設の地域小規模児童養護施設「子どもの家いろ

どり」、里親支援機関連事業「里親支援とつとりの運営も順調に推移しています。

施設的生活単位の小規模化と里親開拓はこの度の社会的養護改革の要で、鳥取こども学園はその全国モデルとして、パオニアの役割を果たしています。

地域児童福祉施設の拠点として、児童養護施設や乳児院、情短施設、児童家庭支援センター、里親支援機関、通所部門、一時保護・ショートステイやトワイライトステイ、小児精神科診療所、若者サポートステーション事業など入所型養育事業と地域展開型ソーシャルワーク事業の有機的総合施設として先駆的役割を担っているのです。

二〇一二年度、更なる飛躍のために

人材育成と財政基盤確立が急務です

③ 鳥取こども学園は創立百六年目を迎えています。創立百周年を機に私たちが「学園の創立の精神に立ち返り制度に子どもを合わせるのではなく、あくまでも子どもが最も善の利益を求め続けよう」と、キリスト教社会事業の先駆性と献身性の復

活を掲げて歩んできました。その実践が現在の社会的養護改革を牽引してきたと言っても過言ではありません。

東日本大震災以降の日本の子どもたち、特に親の貧困や孤立による被虐待児や障害を抱える要保護児童の現状は深刻です。更に、この少子化の時代に施設は満杯で、地域で放置されている家庭の惨状も看過できない状況です。

制度のない時代に、目の前のこれら小さくされた者に寄り添い続けた先輩たちの社会事業実践を改めて想起したいものです。

④ 地方自治の時代と言われる中で、鳥取県は「子育て王国鳥取県」を標榜し、国の制度改革の先頭を切っていたいただいけません。感謝です。しかし、公的制度改革はやっと端緒に就いたばかりです。目の前の子どもや保護者のためには、熱い祈りと有為な人材と多くのお金が必要です。現行の公的制度和公的資金だけでは到底足りません。実に多くの方々から多大なご支援をいただいで歩んでまいりました。お礼申し上げます。

引き続き、「鳥取こども学園後援会」組織強化と財政基盤の確立にご協力ください。

⑤ 子どもは歴史の未来です。今私たちが関わっている要保護児童を健全な社会人として育て上げることは、日本の未来を切り開く重要なキーワードです。

子育て王国鳥取県に日本一の社会的養護体制を構築しようではありませんか。

法人本部

常務理事 藤野興一 記

二〇二二年度、更なる飛躍のために
 ① 二〇一〇～二〇二二年度の一連の改革により、我が法人の実践を支える公的
 制度は大きく前進することとなった。

児童養護施設で六、六〇〇万円（地域小規模新規開設二、〇〇〇万円含む）、乳児院で二、五〇〇万円、情短施設で、一、一五〇万円の人件費増となり、自立援助ホームが定員払いになったことにより、一、〇〇〇万円以上の赤字であったものが二十三年度トントンにまで回復し、二十四年度、家賃補助が二〇四万円プラスされる見込み。法人全体としては、運営費の赤字要因が二気に解消することとなった。
 ② 残された課題として、運営面では、情短通所部門が赤字部門となっており、通所部門の改革が必要である。

更に、大きな課題は、施設整備面で二、九七二万円（これまでの借金にみどり園乳児部改築四、七七〇万円の借り入れが加わった）の借入金があり、その上に更なる情短施設生活棟老朽改築等の課題がさしさまっていることである。

今までは、運営面でも施設整備面でも余裕が無く、年間一、五〇〇万円近い寄付金をあてにした運営をしてきたが、今後は各事業所単位で借入金返済が可能と

なり、寄付金を新たな施設整備や新規事業へ当てることが出来るのは大きい。

③ 鳥取みどり園乳児部改築事業は二〇一一年度着工・二〇二二年度完成予定で本格始動した。定員を十名増。

西方・赤山建築企業共同体に設計管理を委託。鳥取市補助金を得て、智頭の木材を使った準防火建築とし、入札の結果「興洋・久大特別共同企業体」が、一三六、一一三、八〇〇円で落札した。

二月から旧園舎解体、三月着工、十月末完成の予定である。ご支援ください。

④ 今年度新規事業として

- ・鳥取養育研究所の設立（六月）。
- ・鳥取こども学園乳児部の小規模ケアホーム増改築事業。二、七〇〇万円。七月着工一月完成予定。
- ・浜村に「アフターケア事業ひだまり」及び「若者サポートステーション」としてと連携した就労支援事業（作業所）を開設。五月一日認可。農業、敷地内の温泉を利用した事業を計画。
- ・教育と福祉の一層の連携を目指して教育棟増改築実施。三、七〇〇万円。七月着工一月完成予定。

- ・「新会計システム」に対応したTKC会計システム及びグループウェアの導入による各施設間の連携強化。

⑤ 感謝し、一層の支援をお願いしたい。

2011年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未成年 満12歳以上 児童	12/48	12/48	12/49	13/50	13/50	13/50	13/50	13/50	13/50	13/50	13/50	13/51	12/153 596
乳児院	0～1歳以上 2歳以上	6/3 9	7/3 10	6/4 10	6/5 11	6/5 11	4/7 11	4/7 11	6/7 13	6/7 13	7/7 14	7/7 14	6/7 13	71/69 140
情短施設	入所	24	24	28	29	28	28	28	29	29	29	30	30	336
	通所	6	7	7	8	7	7	7	7	8	8	8	9	89
		実人数：191人						延人数：372人						
児童家庭支援センター		実相談件数（来所439、電話152、訪問15）：606件 延相談件数（来所1,148、電話333、訪問67）：1,548件												
鳥取フレンド		7	6	7	6	6	6	6	6	6	7	8	7	78
倉吉スマイル		3	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	64
保育所		170	171	173	173	174	175	176	177	178	179	179	179	2,104
子育て支援センター	利用家庭数	140	174	200	233	244	261	314	309	273	251	248	264	2,911
	一日平均	7	9	9	12	11	13	16	15	14	14	12	13	145

本部会計決算書

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
補助金収入	39,000	38,750	△ 250
寄付金収入	14,200,000	14,579,220	379,220
雑収入	498,000	540,588	42,588
受取利息収入	3,000	1,408	△ 1,592
繰入金収入	2,864,000	2,874,640	10,640
前期末支払資金残高	0	3,724,294	3,724,294
合計	17,604,000	21,758,900	4,154,900

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	1,015,000	1,008,000	△ 7,000
事務費支出	3,201,000	3,271,996	70,996
元利償還金	1,155,000	1,155,000	0
繰入金支出	7,659,000	7,828,745	169,745
合計	13,030,000	13,263,741	233,741

収入支出差引残金の ¥8,495,159 - は次年度繰越

児童養護施設
鳥取こども学園

さて、今年度もスタートして一カ月が経ちます。新しい職員さんや、新メンバーになったホームもいくつかあります。今日も、グラウンドや登下校の子ども達、そしてホームからも元気な声が聞こえてきています。



そんな元気いっぱいの子どもたちから今年度の頑張りたい事を聞いてみました！

グラウンドで元気いっぱい遊んでいるところで聞いてみました！
○もうすぐ、運動会なので運動会を頑張りたいです。そして、新しい小学校での勉強も頑張りたいです。

(さくらホーム 小学校5年生 M・M) ピカピカの一年生一学校には慣れたかな？
○ここをがんばりたい。あと、うんどうかいのリレーではやいひともいるけんまけるかもしれないけど、がんばりたい！！
(ひまわりホーム 小学校1年生 O・I) 幼稚園にも慣れてきて元気いっぱい年中さん一ちょっと先の時まで教えてくれました。

○ようちえんでは、おにぎりこやあをがんばりたい！あと、しゅくだいをがんばりたい！！しゅがくせいになったら！！
(ふじホーム 年中 S・Y)

職員の自己紹介



看護師
三宅 智恵
四月よりお世話になります。毎日驚きの連続と活気ある学園の姿に圧倒されています。趣味は、読書と音楽鑑賞で好きな事はモノマネ番組を見る事です。どうぞ、よろしくお願ひします。



用務員
安田 俊秀
四月より学園で仕事をさせて頂く事になりました。来、自宅も近く、同じ町内会という事で、五十年以上付き合いをさせて頂いております。職員の方々の笑顔での子ども達、また、職員同士の接し方に明るい職場だなあと実感しました。色々とご迷惑おかけすると思いますが、よろしくお願ひいたします。



児童指導員
岩本 拓也
今年度から、鳥取こども学園で働くことになりました。子どもと関わりたい気持ちが大きく製造業をやめて、鳥取こども学園で働くことを決めました。児童養護施設という場所で働くことは初めてののですが、努力していきたいと思っています。



児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収入 (単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	192,502,000	192,831,933	329,933
補助金収入	10,640,000	10,640,806	806
寄付金収入	171,000	170,600	Δ 400
雑収入	2,292,000	3,143,948	851,948
受取利息収入	2,000	2,917	917
繰入金収入	4,649,000	4,649,048	48
前期末支払資金残高	0	4,129,902	4,129,902
合計	210,256,000	215,569,154	5,313,154

支出 (単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	148,217,000	148,108,580	Δ 108,420
事務費支出	7,421,000	7,089,384	Δ 331,616
事業費支出	42,316,000	43,319,506	1,003,506
元利償還金支出	4,649,000	4,649,048	48
繰入金支出	1,372,000	1,370,416	Δ 1,584
固定資産取得支出	2,800,000	300,000	Δ 2,500,000
積立預金積立支出	0	5,500,000	5,500,000
合計	206,775,000	210,336,934	3,561,934

収入支出差引残金の ¥5,232,220 - は次年度繰越

乳児院
鳥取こども学園乳児部

平成二十四年度は十名スタートでしたが、四月以降二名の入所を迎えており今年は早く定員一杯を迎えそうです。先口、退所児童が親子で乳児部に来られ成長ぶりを皆で喜びました。つながりを大切に出来る乳児部として職員一同頑張っています。

担当児を送り出して

かりんホーム 中井史子

新学期も二ヶ月経ちました。私は、学校や幼稚園から元気に下校してくる子どもたちを乳児部の散歩中に「お帰りなさい」といつも迎えています。

この春、生後七ヶ月から約二年間かりんホームで共に生活した担当児のA君を養護ホームに送り出しました。移動前、自分の中で養護ホームに移動しても会えるかと理解していましたが、一緒にごはんを食べたり、お風呂に入ったたり、買い物に行ったりと当たり前過ぎていた思い出を回想すると涙が止まらず移動日は泣かずに送り出せるか心配でした。しかし三歳のA君に「A君は大きくなってお兄ちゃんになったから赤ちゃんのホーム

からお兄ちゃん、お姉ちゃんがいるホームに四月から住むんだよ」と移動の話をする時、話す前まで色々おしゃべりしていたA君がまじめな顔になり、話にうんうんと頷いて黙っていました。泣いて嫌がるかと思っていたら意外な反応に私はびっくりした反面三歳で移動の話を理解するのは難しいけどA君なりに受け入れているのだと感じました。そして私よりA君の方が新しいホームに移動する不安があるのに私が泣いたらもっと不安になってしまうと気づき、当日は笑顔で一緒に「いってきます」と言って乳児部から移動しました。A君は今養護ホームで年上の子ともたちや職員に可愛がってもらい幼稚園にも元気に登園しています。

私は学園で出会った子ども達は一生繋がっていききたいという気持ちでいます。特に今、乳児部で愛着形成の基盤が出来る〇歳から三歳の貴重な時期をみさせてもらいこの時期をしっかりと見ないといふ子どもたちの人生が変わってしまうという気持ちで一日一日を大切に向き合っています。

A君との関係は今後も養護職員と連携し、継続的に外出や散歩などしていきたいです。そしてA君が将来家庭を持ちお父さんになった時、私や養護職員達がA君に注いだ愛情を未来の子どもにも同じ

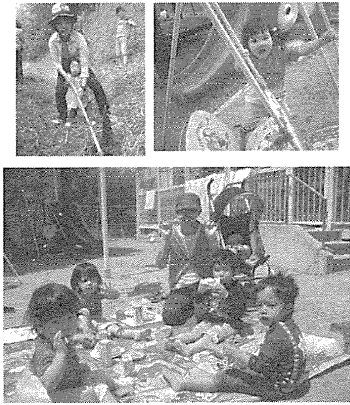
様に注いでくれたらなと思っています。そんなことを願いながら今日も学校や幼稚園から帰ってくる子どもたちを迎えています。

職員自己紹介



保育士
村田 美果

みなさんこんにちは！今年四月から乳児部のかりんホームで保育士としてやってきました！村田美果と申します！！子どもたちと過ごしていく一日一日が発見のある毎日で私自身も学び毎日だと思います。いろいろな刺激を子どもたちからも職員のみなさんからもいただき、私らしく子どもたちと生活していき大きくなっていきたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあります。よろしくお願いします。



乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収入 (単位: 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	136,407,000	137,178,448	771,448
補助金収入	3,565,000	3,608,816	43,816
寄付金収入	67,000	56,500	Δ 10,500
雑収入	255,000	399,196	144,196
受取利息収入	4,000	5,549	1,549
繰入金収入	1,443,000	1,443,080	80
前期末支払資金残高	0	3,856,159	3,856,159
合計	141,741,000	146,547,748	4,806,748

支出 (単位: 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	110,442,000	110,151,798	Δ 290,202
事務費支出	5,927,000	6,037,761	110,761
事業費支出	10,168,000	9,919,114	Δ 248,886
元利償還金支出	1,443,000	1,443,080	80
繰入金支出	775,000	791,816	16,816
固定資産取得支出	1,796,000	1,795,765	Δ 235
積立預金積立支出	0	12,000,000	12,000,000
合計	130,551,000	142,139,334	11,588,334

収入支出差引残金の ¥4,408,414 - は次年度繰越

情短施設
鳥取子ども学園希望館

館長 西 井 啓 二

三月末をもって、ご退職された竹本館長の後を引き継がさせていただきました。出身は大阪ですが、職場が児童相談所、障害児施設でしたので、鳥取に来た三十四年前から鳥取子ども学園の子ども達、職員の皆様とは交流があり、藤野園長をはじめとして職員の皆さんとは子ども達のことを通じてたくさんのお話をさせていただきました。おかげさまで着任後も仲間に入れてもらって気持ちで過ごさせていただいています。それでも鳥取子ども学園では一年生です。子ども達や職員の皆様の成長に負けないようしっかりと役割を果たして行きたいという思いです。

フシネ学校のミッシェル・バレの言葉

「恐れることは何もありません。必要なのは対話です。我々の中にこそ未来があります。」が好きです。未来は、子ども達だけでなく、私たち大人にもあります。皆さんと対話してよりよい未来を発見したいと願っています。

職員の自己紹介



児童指導員
宮 橋 佐和子

昨年の七月から希望館で児童指導員として通所部門で働かせていただいております。今年度からしらゆりホームに入るようになりました。まだまだ未熟ですが、少しずつ成長していけるように一日一日を大切に頑張っていると思っています。よろしくお願いたします。



保育士
尾 崎 靖

昨年八月から希望館で勤務させて頂いている尾崎と申します。反省と後悔の日々ですが、自分の個性を発揮して少しでも力になれる存在になれる様、精進していく所存です。よろしくお願いたします。



児童指導員
岩 崎 多加志

十二月から希望館でお世話になっている岩崎多加志と申します。色々と失敗もありましたが、たくさん職員の皆さんと子ども達に支えられながらの五ヶ月はあっという間でした。戸惑うこともまだまだありますが、少しでも早く信頼してもらえら



セラピスト
本 川 萌 子

う頑張りますのでよろしくお願い致します。四月からしらゆりホームでお世話になっております。今は頼りない存在ですが、誰からも頼られる存在になれるようにがんばります。沢山の迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いたします。



看護師
向 井 り え

四月から希望館の看護師としてお世話になっております。私は皆さんと連携して、経験をつみながら、子どもたちの安心・安全を守るようにがんばりたいです。よろしくお願致します。



保育士
山 本 萌

今年から希望館の通所で保育士としてお世話になります。山本萌です。子どもたちをしっかり受けとめ、小さな変化や成長に気づけるような職員になりたいと思っています。笑顔を大切に、いろんなことを吸収しながら頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

情短施設「鳥取子ども学園希望館」施設会計決算書

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (Δ) 額
措置費収入	167,127,000	167,753,503	626,503
補助金収入	9,462,000	10,181,798	719,798
寄付金収入	91,000	128,000	37,000
雑 収 入	133,000	189,105	56,105
受取利息収入	5,000	4,885	△ 115
繰入金収入	823,000	822,740	△ 260
前期末支払資金残高	0	1,255,239	1,255,239
合 計	177,641,000	180,335,270	2,694,270

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減 (Δ) 額
人件費支出	138,431,000	138,773,255	342,255
事務費支出	10,091,000	9,867,739	△ 223,261
事業費支出	24,085,000	25,459,426	1,374,426
元利償還金支出	823,000	822,740	△ 260
繰入金支出	615,000	613,408	△ 1,592
固定資産取得支出	158,000	158,000	0
積立預金積立支出	0	3,000,000	3,000,000
合 計	174,203,000	178,694,563	4,491,563

収入支出差引残金の ¥1,640,702 - は次年度繰越

保育所
鳥取みどり園

「二人ひとりの
子どもを大切に」

園長 山本恵子

平成二十三年度の卒園児が四十三名と多かったので、新年度入所児が少なくなるのでは…と心配しましたが、四月当初は一六二名。その後にも入所があり、現在一六八名とにぎやかなスタートとなりました。職員も移動があり四名が新しく仲間入りしました。今後三歳未満児の入所が続きます。さて、鳥取みどり園では、創立六十周年記念事業として三歳未満児棟園舎の改築に取り組んでおります。二月に引越しをし、三月初旬より解体工事が始まり三月二十七日に鳥取教会の橋原正彦牧師により起工式を催しました。工事期間を法人施設の仮園舎で生活する小さな子どもたちは、これから暑い夏を迎えようとしていますので生活環境や遊び環境を工夫して、安心・安全の保育を行い園舎完成予定の十月末を子どもたちと楽しみにしております。園では、五月の連休明けから全家庭を対象に家庭訪問を行います。一人ひとりの子どもを背景にあるものを目で見て耳を聴いて、あるがままの子どもを全体を心で感じてみたいと願っています。見えないものを見ることは、見えるものに惑わされず、見えるものを手がかりにしていくものだと思います。子どもをとりまく環境は時代と共に変化し、家庭の様子も多様化している今日。子どもたちの最善の利益を追求しながら、子どもたちの声に耳を傾け心豊かな人間づくりの基礎をつくるよう努めていきたいと思っております。今後とも宜しくお願ひいたします。

職員の自己紹介



保育士
有田 文会
私は、鳥取みどり園で、子どもたちと元気に過ごしていくために三つのことを頑張りたいと思っています。

一つ目は、子どもたちが安心して過ごすことができるように穏やかな雰囲気をつくり、笑顔で接していくことを心がけていきたいです。

二つ目は、子どもたち一人一人を深く理解し、愛情をしっかりと注いでいき子どもたちの成長を見守り、一人一人に合った支援を考えていきたいです。

三つ目は、報告・連絡相談などを徹底し、保護者の方、先生方との連携を大切にしていきたいです。初めての事はわかりませんが、先生方、子どもたちから多くのことを学び成長していきたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。



保育士
池原 萌
私が頑張りたいと思っていることは、いろいろあります。特に頑張りたいことは、子どもへの関わり方です。どのようにしたら子どもとより良い関係を築いていけるのかを考え、関わっていききたいです。そのためには、先輩の先生方がどのように子どもたちに言葉掛けをしているのか、どのように接しているのかをよく見て勉強していききたいです。

また、家庭との連携もしっかりと取っていきたくと思っています。園での様子を伝えたり、家での様子を聞いたりして、信頼関係を結び連携をとっていききたいです。そのためにも明るく笑顔で接していききたいです。



保育士
木下 雅史
鳥取みどり園の保育士として働かせて頂いています。保育士としては七

年目ですが、鳥取みどり園ではピカピカの一年生！毎日が発見の連続で、学ばせてもらう事も多く日々、あたたか、ドタバタしていますが、元氣！笑顔！をモットーに頑張っているつもりです。(笑)

子どもたちにパワーをもらいながら、たくさん楽しい思い出をつくりたいと思っています。職員の皆さまには色々と思惑をおかけしますと思いますが、失敗は成功のもと！受け止めるところは受け止めて、明るくポジティブにいいことと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



保育士
恩田 真帆
私は今年度から子育て支援センターでお世話になっております。支援センターでは子どもと関わるだけでなく、保護者の方々と関わる機会が多く、時には子育てに関する相談を受けることもあります。

しかし私自身まだ経験も浅く、未熟なため上手に答えられることができません。だからこそ私は、保護者の方々の悩みを少しでも軽減するようアドバイスができる保育士になりたいと心から思います。そのために日々頃から他職員の方々を本にさせて頂いたり、研修にも積極的に参加したり、保育士としての能力向上に力を入れています。そして多くの方々に訪れて頂けるようなセンターにしたいです。



保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収入	(単位:円)		
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
運営費収入	120,766,000	121,708,800	942,800
補助金収入	90,237,000	92,885,602	2,648,602
子育て支援センター委託事業収入	7,413,000	7,413,000	0
利用者負担金収入	600,000	654,850	54,850
雑収入	73,000	104,791	31,791
受取利息収入	5,000	5,176	176
積立金取崩収入	0	13,769,557	13,769,557
合計	219,094,000	236,541,776	17,447,776

支出	(単位:円)		
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	118,356,000	121,161,630	2,805,630
事務費支出	6,922,000	7,032,573	110,573
事業費支出	17,054,000	17,496,370	442,370
固定資産取得支出	480,000	4,831,180	4,351,180
積立預金積立支出	0	0	0
予備費	0	0	0
合計	142,812,000	150,521,753	7,709,753

収入支出差引残金の ¥86,020,023 - は次年度繰越

診療所
「こころの発達クリニック」

自分自身への応援歌
〜開設三年目を迎えて〜

院長(精神科医) 川 口 孝 一

私ことですが、以前より(昨年・一昨年はなかったように思いますが)ゴールデン・ウィークのこの時期は黄砂の影響で喘息がアレルギー性の咳に苦しめられます。今年はそれが久々にやってきました。一週間程度で軽快するので良いのですが、咳込みだすと止まらなくなるため、寝不足になったり、患者さんとのお話が中断してしまったりで、生活や診療に支障を来たしてしまいます。つい先日も苦しみながら診療を続けていたら、ギブアップする前にクリニックのスタッフ(岡田看護師、上田事務員)が心配してくれて、患者さんに電話し可能な方に予約変更をお願いしてくれたので、夜間診療(本来時間外診療ですが)を中断し、いつもより早めに帰って寝ることが出来ました。患者さんも診察中咳き込む私を心配してくださいました。平素より患者さんは待合室を植木や花、絵画や手芸品で飾って下さったり、玄関先のプランターに季節の花を植え替えして下さいたり、クリニック前の道路が傷んでいると役に

に連絡(その年の予算の関係でクリニック前の道だけになりましたが、きれいに補修して頂きました。)して下さいたりして、このクリニックのことも大切にさせて頂かれています。

このように患者さんやスタッフの支えがあつて、このクリニックも三年目を迎えることが出来ました。もちろん順風満帆とは行かず、経済面だけでなく(法人役員の方々に御心配をおかけしています)、診療面においても、日々反省の繰り返しで、不快感・罪悪感から解放されることはありません。

前述したように、こんな私は多くの人に支えられて何とかな生き、ここで働かせていただいているのですが、そんな私自身にもセルフ・ケアとしての自分自身への応援歌があります。この度の東日本大震災でも歌の力が改めて見直されていますが、日常臨床場面でも、患者さんから「あの時は〇〇さんの歌に救われました。」と謂うお話を多くお聞きします。皆さんも自分自身の応援歌をお持ちなのではないでしょうか。私の応援歌は、『スターチルドレンの『彩り』と『蒼』ですが、クリニック開設三年目を迎えた今の私の心境にぴったり来る『蒼』を紹介させて下さい。

自分では精一杯してるつもりでも動かないものばかり
揺らめく陽炎に憧れ 目で追う

触れないと知っていても
その人なりが果たすべき使命に
ただひたむきであれと諭すのに
静かに 静かに 夢はささくれ
届かぬ 祈りに 胸が暴れる
ただただ自分の身の丈を知らされ
わずかばかりの譲れぬ誇りに
ただ正直にあれと願うのに
静かに 密かに 嘘を重ね
淀んだ 時流れに 自由を奪われ
ただただ自分の身の丈を知らされ
それでも心は手を伸ばし続ける
(作詞 桜井和寿)

世の中には天才的な精神科医や素晴らしい臨床家がたくさん居られます。私も精一杯やっているつもりですが、そういった方々には到底及びません。でも自分自身の身の丈を知って等身大の自分を受け入れてやっていくしかありません。(時に傲慢だと思える程の) わずかばかりのプライドもあります。こんな自分にも、いやこんな自分だからこそ出来る何か(果たすべき使命)があるはずだと信じています(信じようとしています)。そして等身大の自分を受け入れつつも理想を諦めず、心は手を伸ばし続けて行きたいと思えます。これからもそんな姿をこの手作りクリニックと共に見守ってやって下さい。よろしくお願致します。

診療所「こころの発達クリニック」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業収益	29,828,000	29,590,876	Δ 237,124
医業外収益	1,000	566	Δ 434
合 計	29,829,000	29,591,442	Δ 237,558

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業費用	27,953,000	27,747,700	Δ 205,300
医業外費用	1,518,000	1,518,000	0
合 計	29,471,000	29,265,700	Δ 205,300

収入支出差引残金の ¥325,742 - は次年度繰越

児童家庭支援センター
「希望館」
子ども家庭支援センター「希望館」

チーフソーシャルワーカー
岸 田 有 加

五月になり昨年こちらへ通っていた子どもと植えたイチゴの苗に実がつきました。植えたときは時期が過ぎていたため実がつかなかったのですが、小さいですがちよこんと可愛らしい実をつけています。そしてこの一年の間に一緒に植えた子どもたちは、学びと遊びの経験を通してステップアップしています。

子ども家庭支援センター「希望館」では、昨年度も例年通り延二〇〇〇件を超える相談を受けました。育児は大変です。育児をしていると不安になったり自信を失いそうになることもあるでしょう。孤独感や自責の念慮を抱きながら孤軍奮闘されている親御さんいらっしゃいます。生きる寂しさを抱えながらも、勇気を持って思いを打ち明けてください。だからこそ、相談活動を通じ、自分を取り戻されたり、次の一歩を踏み出されたりするきっかけになれたらと思います。

「不安」に目が行くと、笑いあいやホッとさせる「こころの余裕」を見失ってしまいます。「こころの余裕」とは、子どもで言う(大人もですが)「遊び」ではないでしょうか。遊びを通して人との関わり、ルール、想像力、楽しさetc.:を子どもは体験します。それは大人も同じで笑えるから、ホッとできるからこそ違う視点で物事を見ることができるとは思いませんか?ここへ来る子どもの多くは遊びで得る体験が偏っていたり少なかったりして選択肢が狭く、少ない選択肢から未来を見つけようとしています。子どもの成長も、悩み苦しみも、待たせはありません。支援センターが少しでも多くの気持ちを聴き、一緒に「こころの余裕」を見つけられる場所、実りを実感できる場所になるよう取り組んでいきたいと思えます。

今年度はさらに本体施設より里親相談支援員が二名加わり、体勢としてまた強化されました。たくさんの方数いるからこそ、いろいろな機関と連携し、地域に密着した相談機関を目指したいと思えます。今後ぜひどうぞ、子ども家庭支援センター「希望館」をよろしくお願ひします。

◆来所相談 平日 AM9時~PM6時 (祝日を除く)

◆電話相談 24時間対応
(TEL) 0857-27-4153

※平日夜間 (AM0時~AM9時)・土日祝日は緊急相談のみ

追記 米子市(米子聖園ベビーホーム)に新しく児童家庭支援センターが出来ました。

子ども家庭支援センター「希望館」施設会計決算書

収入 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	12,760,000	12,760,000	0
繰入金収入	655,000	748,498	93,498
合計	13,415,000	13,508,498	93,498

支出 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	11,916,000	11,953,767	37,767
事務費支出	1,499,000	1,554,731	55,731
合計	13,415,000	13,508,498	93,498

収入支出差引残金 ￥0

里親支援ついで

里親委託等推進員 吉田信彦

昨年度の春に里親支援機関事業「里親支援ついで」がスタートして一年が経ちました。これまで県庁や児童相談所が行っていた業務を民間が担ったことで、里親さんや里親になることを希望している方に、より一層身近な形でお手伝いをさせていただいています。

里親委託促進、養育・専門里親研修、普及啓発、里親相互交流などの事業を行っています。昨年の養育里親基礎・認定前研修では、総数三十七名という多くの人が受講されました。人数が多かった理由の一つは、東日本大震災という大きな災いで「自分にも何か出さないか」と思って受講した」という声をよく耳にしました。

事業を通して、たくさんの方の里親さんや里親になることを希望している方たちにお会いしますが、どの方もとても人間味にあふれていて、子どもの養育に対する熱意を感じます。

当所の名称には「支援」という言葉が入っていますが、一方的に支え助けるという考えはありません。熱意あふれる里親さんとがっちりタッグを組んで、児童福祉の両輪として共に進んで行きたいと思っています。今年度もさらに頑張りますので、ご支援をよろしくお願ひします。

里親支援機関決算書

※精算報告額 (単位:円)

科目	収入・支出額	備考
鳥取県委託費	7,782,003	人件費、活動事務費等

自立援助ホーム
鳥取フレンド

寮長 山中友子

自立援助ホームは、昨年度より、定員での措置費払いとなり、これまでを考えると運営的にかなり恵まれてきています。これまで、法人、後援会より、多くの資金援助をして頂いて、現在があることに感謝いたします。今年度は家族補助、及び、入所者の医療費についても加算されることになり、大きくバックアップして頂いています。自立援助ホームが社会の中で必要とされ、そして、理解されていることを実感します。全国的にも、その数が増えてきていて、平成二十四年四月一日、現在八十一ヶ所となっています。ホーム数が増えることが成果ではありませんが、必要とする子が利用できる場所が増えるのは、嬉しく思います。入所中、あるいは、退所後、その人が充実した生き方をしてほしいと思いつつ、子どもたちに関わっていききたいと思っています。

さて、平成二十四年度、鳥取フレンドは、男子三名、女子五名でスタートしました。この三〜五月の間に退所した人が、男子二名、女子一名、入所した人が男子一名、女子二名です。昨年末より、ステップハウスの需要も出てきて、現在、女子二名が生活をしています。比較的、年齢

も高く自立に近い意識をもっている人たちになりますが、そうは言っても、孤立してしまわないよう支援するつもりで見守る必要があります。そして、西町のフレンドでは、男子三名、女子三名が生活しています。就労訓練受講中の子が一人いますが、他は全員、働いています。就職難のこの時勢なので、若い人には、とても厳しい状況で、寮費を払い、保険料、携帯電話代を払ったら貯金が、いくらもできないこともあります。フレンドに在る間に、貯金をしなければならぬと思つていても、思うようには貯まらぬ現状があります。仕事や私生活のこと、恋愛のことなど、日々、何かしら動きがあり、若い彼らにはその度に気持ちも揺れ、目標の自立がすぐ遠く感じたり、投げやりになったりしながらの生活です。継続することの難しさも感じていることでしょう。時々やってくる、OB・OGも、お金も気持ちもいっぱい、いっぱいな状況で相談に来たりします。その様子を今、フレンドにいる子どもたちも見ていますが、「いずれ自分も自活しなければならぬ。どういふことに気をつけていかなければならぬのだろうか」と思ったり、「また、来るとわ。何しに来ると？」と思つたり、「自分も、出てから相談に来るだろうな」と思つたりなど、感じ方は様々です。が、やはり、「いずれは自分も自立するんだ」という意識をこ

ちらも含め、もってほしいと思います。次に、新年度から変わったこととして、フレンドの職員があります。四年間、フレンドに関わって頂いていた鷺見さんが異動となり、四月から新任の藤田さんが入られました。その時、子どもと担当者という出会いですが、その時の子どもたちには、思い出がしっかりと刻みこまれます。これまで、フレンドで携わって頂いた職員の方々、それぞれに、今でも連絡をとっているOB・OGもいます。私たちにしても、出会いの場所となつていきます。新しいスタッフ一同、助け合いながら、新年度をスタートしています。今後ともよろしく願っています。

職員の自己紹介



児童指導員
藤田 裕之

フレンドに来て早くも一ヶ月が経ちました。自立を支援するとはどんなことなのか、と右往左往する毎日ですが、この一ヶ月で山中さんや橋本さんの子どもと接しておられる姿を見て、自分も子どもに寄り添える支援ができるようになりたいと強く思うようになりました。より精進したいと思います。これから、よろしくお願いたします。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

収入 (単位: 円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	21,755,000	21,745,477	Δ 9,523
補助金収入	323,000	323,000	0
寄付金収入	178,000	238,152	60,152
利用料収入	1,493,000	1,563,240	70,240
雑収入	725,000	709,661	Δ 15,339
受取利息収入	1,000	406	Δ 594
前期末支払資金残高	0	8,102	8,102
合計	24,475,000	24,588,038	113,038

支出 (単位: 円)			
科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	16,261,000	16,220,747	Δ 40,253
事務費支出	2,359,000	2,331,748	Δ 27,252
事業費支出	2,526,000	2,256,537	Δ 269,463
繰入金支出	106,000	99,000	Δ 7,000
固定資産取得支出	1,110,000	1,100,000	Δ 10,000
合計	22,362,000	22,008,032	Δ 353,968

収入支出差引残金の ¥2,580,006 - は次年度繰越

自立援助ホーム
倉吉スマイル

寮長 田村 崇

この関金の山口地区に来て早八年目を迎えました。これまで地域の中に一戸の家として受け入れてもらい、運動会や祭りなど様々な地域活動に参加させてもらってきました。そして今年初めて、スマイルがある「五区」の中で、体育部という役割を受け持たせてもらうことになりました。地域の中でおこなわれる運動会やソフトバレーなどのスポーツ行事の打ち合わせや準備、選手集め等の世話役係です。

これまでは若い力ということで、子どもたちと選手として各行事に参加して貢献してきましたが、今年からは一歩前進といった感じです。この一歩に七年かかりました。それが早いのか遅いのかはわかりません。しかし、確実に地域の中の「倉吉スマイル」になってきているんだと感じております。子どもたちも、職員がそばに居るか居ないに関わらず、近所の人たちに出会えば、元気な声で「こんにちは」とあいさつしています。時には、そのまま話してこぼれはらへ立ち話する姿も見られます。とてもいいなって思え

る瞬間の一つです。これからも地域のかかわりを大切にしていきたいと考えています。

さて、現在倉吉スマイルは男子二人、女子三人、合わせて五人の子どもたちが生活しています。それぞれが将来へ向けて自立していかねければならないと感じながら、色々な悩みや不安を感じながら生活しています。未だに解消されていない過去のこと、今現在のこと、そして将来のこと。悩みは様々です。毎日もがきながら生きていこうとしています。我々職員にできることは一体何だろうかと、日々自問自答を繰り返しています。正直明確な答えには辿り着けていません。

日々を生き抜こうとしている彼女らのそばにそっと寄り添うことが大切です。彼女らにとっての最善の利益は何かと絶えず考えていくことも大切です。他にもまだまだ大切なことはあります。そういったことを絶えず忘れずに、「日常の暮らし」を送っていかねければならないと感じています。

今後ともご支援、よろしくお願いいたします。



自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	21,887,000	21,888,681	1,681
補助金収入	939,000	1,020,000	81,000
寄付金収入	122,000	171,620	49,620
利用料収入	0	20,000	20,000
受取利息収入	1,000	239	△ 761
積立預金取崩収入	0	23,563	23,563
前期末支払資金残高	254,000	375,883	121,883
合 計	23,203,000	23,499,986	296,986

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	17,459,000	17,441,056	△ 17,944
事務費支出	2,124,000	2,089,893	△ 34,107
事業費支出	3,620,000	3,969,037	349,037
合 計	23,203,000	23,499,986	296,986

収入支出差引残金 ￥0

述べ相談件数が二、二二七件でした。また一昨年度と同様、実数にして一〇〇人を超える方が相談に訪れています。特に昨年は福祉・医療機関からの紹介が多く、就労・社会参加で困っている背景に心理的・能力的な問題を抱えている若者の相談が増え、支援の難しさを感じ

とっとり若者サポートステーション決算書

※精算報告額 (単位: 円)

科 目	収入・支出額	備 考
厚生労働省委託費	18,834,168	体制費、活動事務費
鳥取県委託費	7,667,054	体制費、活動事務費、事業経費

地域若者サポートステーション事業
とっとり若者サポートステーション

総括コーディネーター
内藤 直人

当所も開設され、五年目を迎えます。開設当初に比べると、支援の流れができつつあり、スムーズな支援ができるようになってきたと感じています。ただ、一方で『慣れ』のようなものもあり、『このくらいで十分』でといった慢心があるのではないかと危惧しています。

昨年度は述べ来所数が二、二二七人で

じる一方で、そういった相談に対応できる機関として、社会的に信頼を得てきていることは嬉しく感じています。

ただ、この信頼を得ることができたのは、支援対象者を常に中心に考え、その都度、手探りではあるけれども、できることを一生懸命してきたことが要因にあると感じています。前述のようなわかつたふりをした慢心があつては、その信頼に十分に応えることはできません。今一度、開設当初の気持ちに立ち返り、そのうえで、支援をさらに良いものにしていただきたいと考えています。そのために四年間蓄積されたものを基に支援を再検証することや統計的なデータから今の若者像を捉えなおし、さらなる支援体制の構築を図りたいと考えています。

障がい福祉サービス事業 はまむら作業所

職員の自己紹介

ぼちぼち、そして共に



管理者兼サービス管理責任者

山岡 宏樹

四月よりはまむら作業所で働かせていただ



おります。ゼロからのスタートなので、事業開始のために地域の方や関係者の皆さんにいろいろと教えていただきながら準備等を一一つ進めております。日々発見と学びの連続です。

また、農業中心の事業展開をしていく予定ですが、私にとっては初めてということもあり、不安も多いです。しかし、恵まれた自然環境や温かい地域の方々に囲まれ、とてもいいところです。

はまむら作業所が、利用者さんや地域の方、スタッフ自身にとっても居心地の良い一つの場所となるよう努めていきま

す。そして、結果的に就労サポートに結びついたらと考えています。



職業指導員

中島 慎介

私の信念は、「バस्तを尽くすこと」です。できることは限られていますが、一つ一つのことにバस्तを尽くし、結果を出していきたいとかがえております。

現在、はまむら作業所は事業の基礎を作っています。農業にたずさわるのは初めてではありますが自分なりに考えて、ことも学園らしい作業所をつくってきたいです。

みなさん、はまむら作業所はまだ始まったばかりで準備や片づけがいっぱいですが、農業、良い景色、温泉たまごがありまして遊びがてら来てください。

退所児童等アフターケア事業 ひだまり



事務員

徳田 晴江

昨年度末にレインボーズの副代表として県内の児童養護施設と自立援助ホームの卒園生や退所者へ記念品を贈る為に施設訪問をさせて頂きましたが、今年度より、ひだ

まりでお世話になることになりました。

さて、わが子の子育ても一段落し、意気揚々と新しい職場に望んだ私ですが、いざ働いてみれば、息つく間もなくカウントダウン迫る決算書作成と伝票整理に追われる日々。想像以上のカルチャーショックに戸惑いを隠しきれません。

中嶋進一理事長には、眼光鋭い洞察力で、毎日まるでヘビに睨まれたカエル状態…。(昔のかわいい進ちゃんも、もつここには居ません。もはやアニキと呼ぶしかないのでしょうか…) 山中捷三さんは、口を開けば下ネタ、下ネタのオンパレード…。吉田裕治副園長は、あの穏やかな笑顔の眼鏡の奥にどんな悪魔が潜んでいるのか測り知れません。

幾度か困難をくぐり抜けてきたつもりですが、このひだまりで今後どんな試練が待ち受けているのかと思うと夜も眠れません。人間関係を築くことの難しさ…課題はまだだと痛感させられます。ですが、「ひだまりに来るとホッとします。」そんな言葉を聞くと本当に嬉しく思います。

「ひだまり」という名のように来所される方々が、明るく笑顔になれるような場所であればと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

**当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。**

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2011. 11~2012. 5)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
西 田 淳	福 島 庸 二	水 本 ク リ ニ ッ ク	城 北 小 学 校 P T A
(株) ヤ マ ネ 機 材	松 岡 菊 枝	池 成 孝 昭	矢 久 間 一 子
山 根 茂	金 田 知 子	中 村 敏 江	田 村 明 子
山 根 章 明 ・ 憲 恵	新 矢 楢 夫	社会福祉法人 あけの星会	土 江 浜 代
山 中 友 子	ゆうわ総合法律事務所	朝 倉 通 憲	橋 本 孝 俊
トットリアフトピア協会	米子信愛鍼治療院	雨 河 一 就	安 木 文 子
3 H 会	松本剛 剛	相 見 園 臣	いしど歯科クリニック
愛 真 幼 稚 園	西 村 正 男	近 藤 明	石 戸 喜 正
福 寿 須 美 江 ・ み どり	大 同 端 子 製 造 株 式 会 社	田 中	渡 邊 哲 次
大 谷 恭 一	大 坂 正 治	田 村 明	(有) 山 本 ハ ウ ス 工 業 雄 吾
倉 吉 ひ か り 法 律 事 務 所	川 上 廣 枝	中 川 正 道	藤 本 奎 吾
辻 本 周 平	日 本 基 督 教 団 用 瀬 教 会	森 沢 直 義	加 藤 知 子
菊 地 ト シ	山 本 博	奥 羽 徳 行	松 本 勲
前 田 悦 子	鳥 山 玲 子	藤 原 雅 夫	鳥 取 教 会 シ オ ン 会
浜 本 五 十 鈴	義 仲 登	半 田 卓 実	秋 崎 る り 子
山 本 智 文	岩 田 美 代 子	谷 尾 裕	岡 村 進 ・ 衣 織
杉 村 英 子	岡 田 武	田 中 耕 自	(株) モ リ コ ー 鳥 取 営 業 所
井 上 裕 子	伊 達 季 代 子	木 村 宏	岸 律 子
小 竹 原 寛	酒 巻 佐 代 子	松 岡 京 子	橋 原 正 彦
叶 原 土 筆	小 原 知 子	山 根 一 夫	ホ ッ ト ほ っ と ク ラ ブ
藤 井 喜 臣	田 中 和 子	福 間 悦 夫	福 祉 相 談 セ ン タ ー
梅 里 伸 正	斎 藤 禎 一	勢 木 宇 太 郎	清 水 雅 彦
尾 崎 美 幸	田 村 愛 子	山 下 弘 実	梓 島 和 江
太 田 法 律 事 務 所 太 田 正 志	田 中 儀 衛	前 田 田 前 田 豊	盛 本 裕 子
鳥 取 鶏 卵 株 式 会 社 社 祐	福 田 源 次 郎	井 口 壬 生	国 際 ソ フ ト ミ ス ト 子 悦
小 野 寺 祐	柏 女 靈 峰	山 口 登 貴 子	山 本 斎 彦
平 野 正 子	船 山 章	中 村 忠 文	上 田 照 彦
松 原 菜 津 子	林 敬 二 郎	小 橋 房 子	中 西 敏
タニグチ・ヘアサロン	前 田 医 院 前 田 宏 治	植 田 公 平	三 木 康 二
谷 口 義 明	タ グ チ レ デ ィ ー ス ク リ ニ ッ ク 章 俊	長 谷 賢 二	尾 崎 呉 服 店
広 谷 笑 子	田 家 電 下 の ぎ の し 明	岸 田 剛 一	高 橋 伊 佐 夫
鳥 取 商 事 株 式 会 社 社 浩	木 下 敏 二		ド イ ア カ ネ
加 納 千 恵 子	中 山 健 二		

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
玉 木 敏 久	田 中 嘉 鶴 子	岩 淵 明 美	梅 澤 潤 一
各 誌 万 寿 子	小 長 井 賀 與	村 上 潤	岸 恵 理
鳥取県教職員組合東部支部	杉 浦 倫 子	田 淵 広 通	コールおもかげ 寺坂圭子
井 上 康 夫	岡 本 昌 治	安 住 庸 雄	内 田 實
川 口 東 洋 輔	浅 田 悦 子	林 義 雄	天 徳 寺
やまね 青 果 (株)	庭 崎 恵 子	村 中 英 夫	高 橋 昌 文
浅井慶紀・富美子	井 上 恭 子	幾 野 裕 昭	里 見 恵 子
橋 原 正 彦	若 林 健 嗣	濱 田 久 美	岩 本 純 子
井 上 仁 ・ 恭 子	柴 田 隆 嗣	市 川 元 子	(株) ニ シ 才
白 井 道 子	古 閑 景 子	竹 森 香 理	鳥 取 白 バ ラ 乳 販 (株)
金 田 和 子	岩 広 紳 二	野 口 堅 翔	星 加 忠 孝
吉 田 由 喜 江	鈴 木 恵 美 子	安 達 裕 見 子	日本基督教団 鳥取教会
田 中 工 業 (株)	尾 崎 三 智 子	山 本 伸 子	前 嶋 佐 保
田 山 喜 久 雄	西 尾 琉 璃 子	岩 宮 緑	柴 田 和 仁
石 田 文 三	河 本 充 弘	草 野 雅 昭	あいホーム工房
宮崎進・英子	鳥 取 友 の 会	森 本 志 津 江	野 口 庸 治
海 藤 ひ ろ み	医療法人きむら耳鼻咽喉科医院 木村	光 田 澄 子	木 村 信 行
塩 沢 洋 子	伊 藤 あ さ 美	江 谷 孝 明	亀 本 良 一
やまこう建設(株) 岸本行正	ラ ス ベ ガ ス 智 頭 店	山 白 史 子	藤 野 興 一
藤 井 重 明	松 永 陽 明	三木眼科 三木統夫	竹 本 薫 子
河 田 瑛 子	小 谷 京 子	(株) 中 井 修	貞 光 由 紀 江
内 海 敏	齋 藤 基 ・ 春 代	(株) プレマスペース 大塚 祐 子	松 浦 逸 郎
浄土宗本願寺 谷本直哉	谷 口 香 与 子	植 田 望	中 山 裕 雄
市 川 元 子	高 力 房 枝	鳥 取 ラ イ オ ン ブ ク ラ ブ 福 田 健 治	村 山 嘉 次
豊 福 孝 明	鳥 取 県 共 同 募 金 会	渡 辺 隆 夫	懸 樋 義 樹
清 水 守	鳥 取 県 弁 護 士 会	米 子 教 会 社 会 委 員 会	川 端 勇 次
竹田義男・江海子	濱 本 英 機	葉 狩 理 子	坂 根 政 代
古 川 潤 一	す し の 江 戸 吉	日 本 キ リ ス ト 教 団 会 上 井 教 会	加 藤 和 徳
山 本 静 彦	水 谷 昭 二	野 崎 紳 一 郎	花 木 正 史
小 谷 護	日 本 基 教 団 鳥 取 新 生 教 会	大 谷 和 雄	木 村 肇
安 藤 信 子	坂 根 千 里	望 月 彰	中 川 康 恵
森 下 耀 雄	鈴 木 洋 平	前 田 千 代 子	武 安 泰 雄 ・ 美 和 子
丸 山 順 子	米 本 哲 人	(株) 三 栄	宮 崎 有 代
赤 山 善 男	山陰酸素工業(株) 鳥取支店	(株) 眞 嶋 憲 二 ・ 千 鶴	石 川 省 三
鳥取県教職員組合東部支部	錦 織 由 起 子	生 田 百 合 子	上 村 優 子
他 無 名 氏	中 本 久 美 子	子 供 の 家 三 美 園	井 坂 靖 令
	三 浦 敏 樹	正 林 督 章	寺 本 美 奈 代

物品寄付者 (2011.11~2012.5)

敬称略

氏名	氏名	氏名	氏名
吉田 勇	市谷 年弘	依藤 厚子	全国シャンメリー協同組合
みもざの会	クラモト	浅井 慶紀	吉田 恵
地方紙正月連合企画係 高尾康浩	(株)上田包装企業鳥取支店	井上 恭子	岡田
奥田	資生堂社会福祉事業財団	立五2区町内会	ライオンズクラブ
野田	生協こどもクリニック	鳥取敬愛高等学校Sクラブ	松山 はる系
米子市役所観光課	前場 大輔	黒川 和子	修立小学校
西ロータリークラブ	鳥取市更生保護女性会 山根志津	(株)竹中工務店鳥取営業所	U F O 秋里店
植村 隆博	中口 文久	(株)竹中工務店安全衛生協会 山本正広	大隣
大樹 寺	(株)サンクリーン鳥取	中島 妙子	坂本 亨
長谷 高伸 幸	下田 峰子	スリーパー鳥取店	斎江 嘉枝
いさみや 商店	海陽 亭	鳥取県中小企業団体中央会 有田勝徳	神楽サロン 出版
まごころ 庵	(株)徳田 商店	立川4丁目町内会	安木 文子
中嶋 浩治	毎日新聞 野倉 恵	山陰中央新報	高橋 宏
渡瀬 伎間江	谷口 秀雄	れとろ	修立地区老人クラブ 安田謙三
鳥取教会 シオン会	鳥取 廣信 青果	鳥取 シネマ	修立小学校教職員一同
中国アイスクリーム協会 波多野和彦	西垣 智恵子	フィリップモリスジャパン(株) 松原寛	パンドラの箱
下田 美喜 枝	椿 亨子	田村	川口 真由美
	U F O 安長 店	智頭町副町長 石谷雅文	日本鏡餅組合 懸口元剛
	U F O 扇 町	光琳グループ 猪口吉野	鳥取西地域包括支援センター 田中悦子

平成23年度 鳥取こども学園後援会収支決算書

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

(収入)

科目	当年度	前年度	比較増減(Δ)額	摘要
後援会費	415,000	578,000	Δ 163,000	66件 (前年度80件)
貸付金返済	100,000	325,000	Δ 225,000	ひだまりより
雑収入	206	282	Δ 76	預金利息
前期繰越金	1,742,969	897,462	845,507	22年度より
合計	2,258,175	1,800,744	457,431	

(支出)

科目	当年度	前年度	比較増減(Δ)額	摘要
本部会計へ寄付	1,500,000	0	1,500,000	
手数料	47,925	38,675	9,250	郵便局振込手数料
部活支援	0	19,100	Δ 19,100	
貸付金	0	0	0	
雑費	0	0	0	
合計	1,547,925	57,775	1,490,150	

収入支出差引残金の ¥710,250 - は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎倭子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考へてのことですので、ご理解いただけますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。